

2024 年度事業報告書

(2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日)

I. 概況

コロナ後の我が国経済及び国民生活は、平常時に戻ったが内需停滞の中、先行きの不透明感・不確実性が続いている。

このような中であって、当協会の 2024 年度財産運用については国内では低金利環境が継続するものの、為替変動等の運用リスクを注視しながら、運用先・通貨・期間等を考慮した分散投資に努め、適切な資産運用を実施してきた。その結果、基本財産運用益は前年を上回った。

事業収入については、引き続き年度を通じて貸会場の貸出を休止したことから減収となった。

非収益事業である展示事業等については、2025 年 3 月に先端技術館の一部展示の見直し、更新を行った。来館者数は、学校団体や家族連れを中心に、1 万 7 千人となった。また、来館型のプログラミング講座等を開催した。さらに、地方におけるアウトリーチ事業も教材貸し出しを含め、9 か所で実施した。

その他の事業も含め、2024 年度に実施した事業の主な内容は、以下のとおりである。

II. 実施事業の具体的な内容

1. 展示事業

(1) 展示のリニューアル実施

先端技術館の展示は、エリアを「プロローグ」、「ショーケース」、「ワークショップエリア」、および「クリエイティブラボ」の 4 つに分け、若者とテクノロジーをつなぐ「CONNECT」をテーマに様々なコンテンツを前年度に引き続き展開した。

また、2025 年度に向けて、「プロローグ」エリアおよび「ショーケース」エリアの一部について展示物の更新を行った。

また、来館者のスマートフォンを使用して、各展示物の解説を聞くことが可能なデジタルアテンダントのサービスも継続した。

「ワークショップエリア」では、学生・家族連れを中心に楽しみながらロボットプログラミングを体験できるワークショップを開催し、低年齢向けのロボットプログラミング教材を自由に体験できるコーナーも新教材を加え継続した。

さらに、ものづくりに挑戦できる環境である 2 階の「クリエイティブラボ」の活用を行った（4.（1）参照。）。

なお、一日 3 部の総入れ替え制、事前予約制での運営を継続した。

また、2025 年度に向けては、2024 年キッズデザイン賞 TEPIA 特別賞への入替、若者イノベーターコーナーは新たな映像を加え、計 4 つの映像に変更した。

(2) デジタル TEPIA の運営継続

2021 年度前期に開始したデジタル TEPIA（オンライン上での展示）は、「キッズデザイン賞表彰」における「TEPIA 特別賞」受賞作品や若者イノベーター等の展示の更新を行い、運営を継続した。また、2023 年度にリニューアルした「人と自然」コーナーは、実際に 360 度カメラで撮影した館内の映像を、あたかも実際の展示エリアに来ているような感覚で PC 等で見ることできる web コンテンツにしてデジタル TEPIA 内からリンクして閲覧可能とした。

2. 情報リテラシー事業

前年度から引き続き、TEPIA 先端技術館主催のプログラミング体験イベントを全国各地で実施した。

(1) アウトリーチ事業（地方展開）

2024 年度は 9 地域でアウトリーチ事業を展開した。山形県酒田市、大分県別府市、山口県下関市、島根県出雲市、山口県防府市、福岡県直方市、静岡県富士市では地元の団体に協力いただき、また、地元の高専などの学生がチューターとなり、プログラミング体験イベントを開催した。

その他 2 地域については、過去にアウトリーチ事業の開催実績がある宮崎県延岡市では、地元団体主催のイベントへ教材の貸し出し、レクチャーのサポートを行い、また、秋田県秋田市では、2023 年に引き続いて地元団体主催のイベントへ教材貸出を実施した。

① 山形県酒田市

【実施日・場所】 2024 年 6 月 9 日 酒田駅前交流拠点ミライニ鶴岡工業高等専門学校がチューターとなり、5 種類の教材を体験できる「TEPIA 先端技術館プレゼンツ プログラミング体験広場 in 酒田」を事前予約制で実施した。

② 大分県別府市

【実施日・場所】 2024 年 7 月 21 日 別府市公会堂（中央公民館）事前予約制による電子工作講座と学年別 2 コースのプログラミング教材体験を設けたイベントを実施した。講師および教材指導は TEPIA 職員が務めた。

③ 山口県下関市

【実施日・場所】 2024 年 8 月 7 日～8 日

海峡メッセ下関 海峡ホールほか地元イベント「2024 しものせき未来創造 JOB フェア」と同日開催でプログラミング体験イベントを実施した。小学生高学年を対象とした事前予約制のコースと、対象年齢を問わない当日受付制のエリアを設け、計 6 種類の教材を体験できる内容とした。下関市立大学、下関商業高等学校の学生がチューターを務めた。

④ 島根県出雲市

【実施日・場所】2024年9月7日～8日 出雲科学館

松江工業高等専門学校がチューターを務め、学年別にそれぞれ3種類の教材を1コースとした事前予約制エリアと、低学年向け2種類の教材を配置した当日受付エリアを設けてプログラミング体験イベントを実施。TEPIA職員による電子工作&プログラミング講座も開催した。松江工業高等専門学校によるロボット操縦体験が同時開催された。

⑤ 山口県防府市

【実施日・場所】2024年9月29日 防府市創業・交流センター

地元の教育機関4校の学生がチューターを務め、来場する子どもたちに5種類のプログラミング教材を用意し、事前予約制の体験イベントを行った。

⑥ 福岡県直方市

【実施日・場所】2024年10月19日

イオンモール直方 イオンホール

直方市主催のイベント「のおがた SDGs フェスタ in イオンモール直方」にプログラミング体験イベントを出展。当日受付制で、北九州工業高等専門学校の学生による指導により5種類の教材を幅広い年齢層の参加者が体験した。

⑦ 静岡県富士市

【実施日・場所】2025年2月8日

富士市産業交流展示場 ふじさんめっせ

富士市が主催する「ものづくり力交流フェア2025」に出展。事前予約制とし、5種類のプログラミング教材を用意し、体験イベン

トを行った。吉原工業高校コンピューター一部の学生がチューターとなり指導を行った。

⑧ 秋田県秋田市

【実施日・場所】 2024年11月24日

秋田拠点センターinアルヴェ

2023年に引き続き、地元主催の「あきたキッズプログラミングアワード」に6種類のプログラミング教材の貸し出しを行った。指導は地元の教育機関の学生が行った。

⑨ 宮崎県延岡市

【実施日・場所】 2025年1月19日 延岡駅西口街区ビル2F

2023年度に開催したプログラミング体験イベントを地元で根付かせたいと依頼を受け、延岡市が主催する「デジロボアドベンチャー」に4種類のプログラミング教材を貸出し、また地元スタッフへのレクチャーや当日のサポート等を職員が現地で行った。

3. 顕彰・助成事業

(1) キッズデザイン賞における TEPIA 特別賞授与

特定非営利活動法人キッズデザイン協議会が毎年実施する「キッズデザイン賞表彰」（後援：経済産業省）において、「TEPIA 特別賞」を2024年も継続した。

- ・表彰式開催日（第18回キッズデザイン賞） 2024年9月25日
- ・TEPIA 特別賞：「Bocco emo こども生活習慣ポート」

（受賞者）ユカイ工学株式会社/東京家政大学/東京ガス株式会社
都市生活研究所

4. 先端技術などに関する映像情報サービス事業

(1) クリエイティブラボの活用

将来的に青少年が実際にラボでものづくりできるようにすることを目指し、2024年度においては、12名を対象とした、木工工作、レーザー加工機、3Dプリンタ、電子工作の連続講座と課題製作を通じて、ものづくりに関する知識や技能を身につけながら、より自由な創造を楽しんでもらうための新しいプログラム「テピアクリエイティブクラブ」を行った。

さらに、春、ゴールデンウィーク、夏休み、冬などのイベント時を中心に、特別講座として大学や企業の協力講座や TEPIA オリジナルの来館型の講座等を開催した。

【テピアクリエイティブクラブ 活動概要】

- ・オリエンテーション・親子でつくる木工工作 6月23日
- ・レーザー加工機用データ作成、使い方講座 6月30日
- ・3Dプリンタ用データ作成、使い方講座 7月15日
- ・はじめての電子工作 光るクラブ会員証づくり 7月27日
- ・課題制作期間（7月28日～10月31日、以下は来館可能日）
8月2、12、21、27、31日、9月16、23日、10月5、12、19日
- ・成果発表・修了の会 11月4日（終了後、感想と制作したものの写真等は抜粋してラボに掲示）

【イベント・来館型講座 内容・実施日】

- ・春休みイベント（3月20日～4月7日、以下は4月以降開催実績、カッコ内は2023年度）
 - ・「あるくメカトロウィーゴで親子でプログラミング体験」
（4月6日：株式会社リビングロボット 協力）
 - ・「レーザー加工機で時間わりをつくろう！」講座
（3月30日、）4月7日
 - ・「TEPIA 科学実験ワークショップ」（3月20日～4月5日）
 - A「針金で水に浮くアメンボ作り」（9回）5回開催
 - B「実験！つかめる水作り！」（3回）3回開催

C「テレビの中身？液晶を作ってみよう」（3回）1回開催

※その他、1階展示場にて

・セルロースナノファイバーを使用した車両展示

・クイズラリー&環境ガチャ実施

・ゴールデンウィーク特別ワークショップ（4月27日～5月6日）

・「SpaceBlockプログラミング体験」4月27日

・「立体的な工作でお顔のプチバッグをつくろう！」4月29日

・「森先生と実験&工作 水のふしぎ」5月5日

○体験コンテンツ

・オリジナルキーホルダー作成 4月28日、5月6日

・CNFを使ったダルマの絵付け体験 5月1日～4日

・プログラミング体験

・クイズラリー

・夏休みイベント（7月20日～9月1日）

・「ロボットを組み立てて競争してみよう！」 7月24日

（一般社団法人 日本機械学会 関東支部シニア会 協力）

・「電子工作でFMラジオをつくろう！」7月28日

・「～ドキドキ実験～ 空気と真空の実験ショー！」8月3日

（東海大学 スチューデントアチーブメントセンター サイエンス
コミュニケーター 協力）※1階展示場にて実施

・「ふしぎな粉で色が変わる おえかきマジック♪」8月11日

（お茶の水女子大学 サイエンスコミュニケーション団体 おち
やっこ Lab. 協力）※1階展示場にて実施

・「光る、動く！簡単モノづくりプログラミング♪」8月12日

（株式会社AVAD 協力）※1階展示場実施

・「実験講座 21世紀は「光とロボットの時代」」8月18日

（産業技術総合研究所 協力）

○特別企画（1階ワークショップエリアで実施）

・プログラミング体感アトラクション（株式会社AVAD）

- ・ロボットたちの盆踊りショー（株式会社リビングロボット）
- ・針金のアメンボを浮かせよう！
- ・水転写キーホルダーをつくろう！
- ・ダ・ヴィンチ橋に挑戦！
- ・BOLT ワークショップ夏休み Ver.
- ・謎解きイベント
- ・ドローンプログラミング体験

（7月20日～31日、8月1日～9月1日）

- ・スキルクラス（モデリングソフト「Tinkercad」の講座）
 - ・「モデリングの基本操作を学ぼう」 10月27日
 - ・「組み立てモデルのモデリングを学ぼう」 11月16日
- ・冬の特別講座
 - ・「LEDで光るモールス信号機をつくろう！」11月30日
 - ・「自然にかえるプラスチックが〇〇からできる!!実験」12月7日
（東京大学サイエンスコミュニケーションサークル CAST 協力）
 - ・「電子工作でFMラジオをつくろう！」12月15日
 - ・「Myカラオケスピーカーをつくろう！」12月21日
 - ・オリジナルキーホルダーづくり 11月23、24日、12月8、22日

(2) TEPIA 講演会等の開催

先端技術の動向や課題等の理解を目的に開催する TEPIA 講演会を以下の通り2回開催した。2023年度から開始したリアル開催と同時オンライン配信を2024度も引き続き行った。また、講演会終了後のオンデマンド視聴も、期間を定め可能とした。

これらの取り組みと2回の開催により、リアル、リモート参加及びオンデマンド視聴を合わせ約240名が視聴した。

第17回 TEPIA 講演会

- ・開催日：2024年5月31日

- ・ 東京大学 大学院農学生命科学研究科
特別教授
磯貝 明 氏
- ・ 講演テーマ：日本の豊富な植物資源と日本が誇る先端技術で切り開く循環型社会
～セルロースナノファイバーは人と自然の共生を可能とする革新素材～

第 18 回 TEPIA 講演会

- ・ 開催日：2024 年 11 月 8 日
- ・ 東京大学 工学部長 大学院工学系研究科長
教授 / 理学博士
加藤 泰浩 氏
- ・ 講演テーマ：南鳥島 EEZ の海底鉱物資源の最前線

5. 調査・広報事業等

(1) 調査事業

2026 年度の先端技術館のコーナーリニューアルに向けて、先進的な技術動向の把握と各各分野の有識者からヒアリングを実施した。

(2) 広報事業

広報ビデオを作成し、各自治体へのアウトリーチ事業説明、外部団体等への TEPIA 先端技術館紹介等に活用したほか、TEPIA を広く知っていただくためにホームページでも公開した。合わせて X を始めとする SNS、TEPIA メールマガジンや TEPIA ウェブサイト、SNS 等にて各種情報の発信、および、全国・地方紙、通信社等、約 300 の各メディアに対しプレスリリースの配信等を行い、TEPIA 先端技術館および各々の事業活動の PR に努めた。その他 TV、Web メディアの取材、港区の地域情報誌や修学旅行生向け旅行情報誌等の情報更新等を積極的に行い、前年度を上回る集客に貢献した。

また、港区等の地域の関係団体との交流を図るとともに、各加盟組織の年次総会等に参加し、TEPIA に関する情報発信を行う等、全国の関係組織との連携を深めた。

さらに、全国各地で開催してきたアウトリーチ事業や館内講座などで協力いただいた学生等と TEPIA アドバイザー等産業技術の専門家・研究者の交流の場として「TEPIA サークル」を創設。2024 年度アウトリーチ事業を行った地域で積極的にアピールし会員数は 87 名となった。また会員に向け TEPIA 関連情報や先端技術情報、各地で行ったプログラミング体験イベントの報告等を『TEPIA 通信』にて年 4 回、定期的に発信し、会員サービスとコミュニティ作りに努めた。

6. TEPIA 館施設の賃貸

貸会場については、年間を通じて引き続き貸出を休止した。

以 上